

参加費
無料

《京都産業大学 文化学部主催》
京の町家で文化学
—高校生にひらく京都文化・国際文化—

高校生
対象

京町家という落ち着いた空間で、「教科書の向こう側」を覗いてみませんか？
京都産業大学文化学部の教員が、大学での学びへの扉をやさしくひらきます。

① 祇園祭の山鉾について考えよう

日時：2022年10月8日（土）14：00～15：30

講師：村上忠喜（文化学部教授）

今年7月、祇園祭の鷹山が約200年ぶりに復興しました。大型の山鉾などが出るお祭りを祭屋台行事と総称し、現在、日本各地の約1300箇所豊かに伝承されています。多彩な祭屋台（山、鉾、山車、屋台、太鼓台等）の源流のひとつが祇園祭山鉾ですが、その形態は時代に応じて変化してきました。今年復興した鷹山の形態変化の分析を通して、多様な日本の祭屋台文化を科学してみましょう。あなたも「祭り好き」になりますよ。



② ペリー来航を考えよう—開国の鍵は〈エンタメ〉?!—

日時：2022年11月12日（土）14：00～15：30

講師：中西佳世子（文化学部教授）



1853年の黒船来航は日本を震撼させました。しかし日米和親条約の締結が決まると、ペリーは、黒人に扮した白人が歌ったり踊ったりする「ミンストレルショー」の艦上劇に幕府の要人を招いて大いに笑わせました。ペリーは「開国の鍵はエンターテインメントにあり」と考えていました。奴隷制時代に流行した人種差別的なショーを日米文化交流に用いたペリーの「文化戦略」の本質を、同時代のアメリカ文学との接点からひもときます。

③ 「能」という文化について考えよう—時空を超える能面—

日時：2022年12月10日（土）14：00～15：30

講師：ディエゴ・ベレックア（文化学部准教授）

能の上演に使用される面（おもて）は単なる舞台道具ではなく、非日常的な力を保っていると思われています。遠い過去の人物を表現した顔でありながら、現代人にも通じる表情を持っています。面は時空を超えて様々な愛憎、希望や恐怖をも映し出す「鏡」となるものです。この講義では様々な面を身近に鑑賞した上で、制作工程や舞台上での使い方を紹介します。京町家で面の秘密を探ってみましょう！



対象：高校生

定員：20名（保護者同伴1名まで可）※定員を超えた場合、抽選となります。

申込方法：右記のQRコードから必要事項を入力してください。

申込期日：①9月30日（金）、②11月4日（金）、③12月2日（金）

※それぞれ16：30まで

場所：京都産業大学 町家学びテラス・西陣

（京都市上京区福大明神町128 市バス「堀川中立売」下車徒歩2分）

※神山キャンパスとは異なりますので、ご注意ください。

アクセス：右記のQRコードからご確認ください。



申込フォーム



アクセス

【お問合せ先】京都産業大学 文化学部事務室（京都市北区上賀茂本山 京都産業大学11号館1階）
電話：075-705-1941 E-mail：bunka-jim@star.kyoto-su.ac.jp